

プロジェクト概要



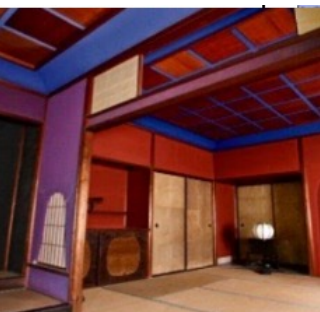
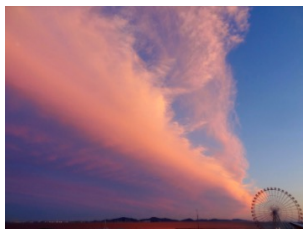
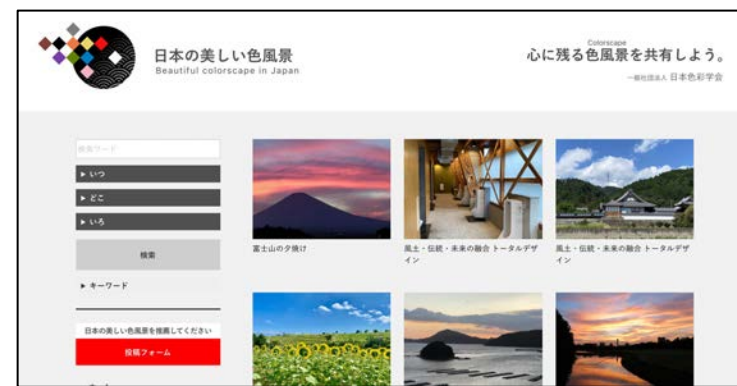
日本の美しい色風景
Beautiful Colorscape in Japan

Colorscape 心に残る色風景を共有しよう。

“美しい色風景”は単なるカラーバランスのよさではなく、
音、香り、手触り、佇まい、思い出などが重なり合った総合的な体験。
もの、こと、生物、空間、環境。
あなたの五感に響く“美しさ”を集めて共有するサイト。

2021年6月
一般社団法人日本色彩学会

トップページ





日本の美しい色風景 サイト (データベース)

【機能】 ①投稿 ②閲覧 ③検索 ④投票 (現在①～③を実装)

【利用者】 学会員 (パスワード付きアクセス)

【活用】 さまざまな立場から、さまざまに活用

例)

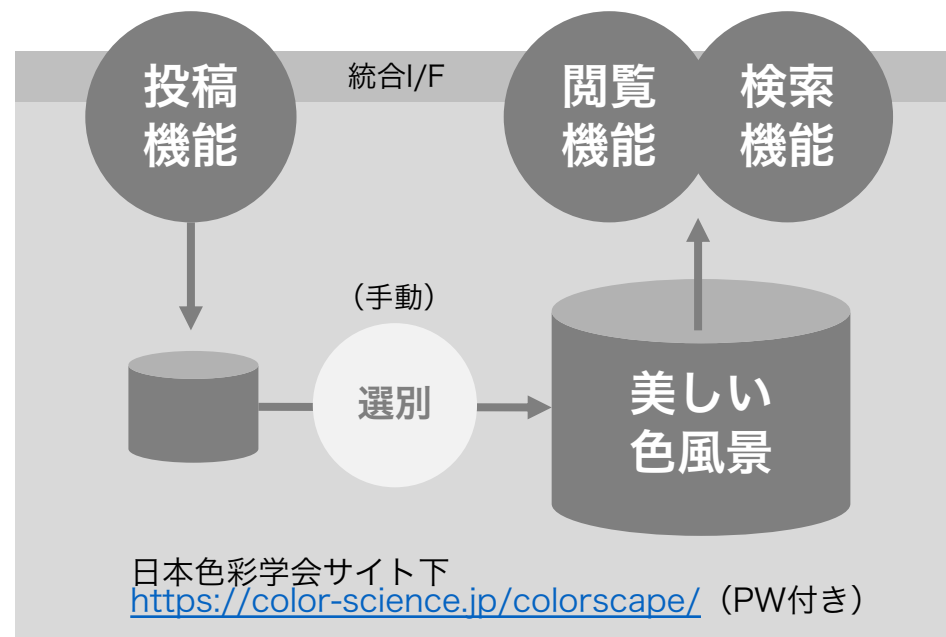
- ・“美しい”の可視化と共通性認識
- ・相違点の分析や理解
- ・地域性や季節性の比較 など



- *アイデア創出のきっかけ
- *評価指針・指標作成の参考
- *多様な価値観の教育 など

【経過】

- 2020.07 美しい日本の色彩環境を創る研究会、
くらしの色彩研究会 の有志で構想
- 2020.08 第1次募集 (2つの研究会会員を対象に試験的にデータ収集)
- 2020.10 テストサイト実装
- 2020.12 研究会大会で初披露
- 2021.05 学会サイトの下に移設
- 2021.06 説明文、投稿機能など追加
全国大会で案内
- 2021.11 研究会大会で案内



※Special thanks to

- 費用支援： 美しい日本の色彩環境を創る研究会
くらしの色彩研究会
令和2年度研究会大会実行委員会
- ロゴ制作： 多田真奈美 (くらしの色彩研究会)
- サイト移植： 学会事務局、学会広報委員会

プロジェクト概要 (サイト画面)



日本の美しい色風景
Beautiful Colorscape in Japan

検索と閲覧

トップページ



【いつ】6月 検索結果



色風景の解説ページ



白良浜の砂とパラソル

その色風景の詳しい説明

和歌山県の白浜にある白良浜は、その名のとおり90%の珪酸を含む石英砂からなる白い浜で、延長620mの遠浅の浜には、夏になると多くの観光客が訪れる。白い浜には色鮮やかなパラソルやテントが立ち並び、色と歓声がにぎやかに鳴り響く。美しいサンセットや海から打ち上げられる恒例の花火もまた色鮮やかで絶景である。

あなたが"美しい"と感じる理由や思い出

戦後の日本は、浜辺がどんどん埋め立てられ、特に大阪湾にはほとんど浜辺が残っていない。残っている浜辺も護岸工事の影響で浜の面積が減ったり、汚れが目立つようになってきている。白良浜はその中で手入れも行き届いており、美しい浜辺で海水浴をしたり、散歩することができる。

【どこ】三重県 検索結果



【いろ】紫 検索結果





《2020年7月 第1次募集時のメッセージ》

日本には、美しい風景がたくさんあります。東西南北を海に囲まれた南北に長い国土、寒暖の差が激しい季節によって、多様な生活文化が息づいています。そこには、自然と人間の共同作業ともいえる「文化的景観」や自然の力で作られた自然遺産、あるいは文化遺産のように、人工による遺産を含む風景があるでしょう。そこには、必ず特徴的な色があるのではないのでしょうか。

色とは、気色（けしき）をいわれるように、人間の感情や自然界の状態が表に現れた様子でもあります。色風景とは、色が特徴的な風景であるとともに、よりそこに人間の生活や文化、自然の生態系が現れている風景といえるでしょう。

そういう意味で、「美しい色風景」とは、単なる目に見える配色が綺麗で、フォトジェニックな風景ではありません。地域が育んだ自然や生活文化がバランスのよい状態で現れた風景が、「美しい色風景」といえるでしょう。そして、「美しい」というのは地域が多様であるように千差万別で、それぞれの美が見いだされるのではないかと思います。

いっぽうで明治以降、日本でも産業社会が進み、過度に人工的な技術が浸透し、自然とのバランスは崩れ、気候変動による自然災害は年々増えています。今こそ、「美しい日本の色風景」を集めることで、持続可能な人間生活とは何か、考える時期に来ていると思います。是非、あなたが想う「美しい色風景」を推薦していただけたら幸いです。

美しい日本の色彩環境を創る研究会 三木 学

環境省はこれまでに、音風景（Soundscape）やかおり風景（Smellscape）の募集と選定を実施してきました。新型コロナによるパンデミックにより、時間的・空間的に制約された日常を過ごす中で、今までは目に止まらなかったモノやコトにハッとさせられる経験をされた方も多いのではないのでしょうか。今このタイミングに、日本色彩学会が中心となって色風景（Colorscape）を選定する活動をスタートさせませんか。私たちが住む日本、そこに息づくモノやコト、そして未来に向けての日本人のあり方を、立ち止まって考え、後世に引き継ぐ機会を作り出しましょう。

私たちが感じる「美しい色風景」とは、目に映る色彩のバランスのみならず、音、香り、手触り、風、温もり、佇まい、風土、時間、思い出など、さまざまなものが重なり合った「総合的な体験」です。五感を全開にして「色風景」という視点から“美しさ”を探す試みにより、日本がもつ豊かで美しい環境や文化を今一度みつめ、未来の環境や文化継承、そして街づくりなどにつなげていけないでしょうか。

さあ、心にゆとりをもって五感を開き、「美しい色風景」を探してみましよう。そして、あなたの心に響く、まもりたい、後世に伝えていきたい「美しい色風景」を、ぜひたくさんお寄せください。自然環境、生き物、生活文化、地場産業などにかかわる多様なご提案やご推薦を、心よりお待ちしております。

くらしの色彩研究会 川澄 未来子



共有幻想 共同幻想の「日本の美しい色風景」

視覚に映る色全てはメッセージ。見たもの全て人それぞれの認識は異なり、次の行動と生き方になる。人は目を閉じ想いを巡らせると「個的幻想」の世界にあり、目を開くと家族、友人、地域の包容力、共助の心と習慣、共有する人の存在で続いてきた「共有幻想」が存在する。

今やその基盤を失ったことが現代日本の混沌とした不幸な状態であり、それを支えて来た国家や民族の法や力である「共同幻想」も、敗戦で大きく価値観も根底から覆り、環境も色彩もアメリカ的になったが和の伝統と上手く噛み合わず、バラックデザインでの混乱が続いている。

環境の混乱は国民の考え方や、政治、文化、子どもたちの未来に大きく影響している。環境が人をつくるのである。ここで今必要なことは国民の感受性と質を高めることにある。

色彩は人間活動の大半を担う五感のまとめ役である。幸せで美しい心の元である色彩環境を取り戻すために、日本色彩学会を挙げて「日本の美しい色風景」に取り組もう。

「生きるべき 道知りてこそ 世の中の 人も人なれ 色も色なれ」

東海支部 林 英光

自らの感性できりとる「日本の美しい色風景」

日本色彩学会会員の皆様、新しい楽しみが登場しました。スマホが普及して写真が最も手近な投稿の方法になった今、写真投稿による「美しい色風景プロジェクト」の発足です。

「美しい」というイメージは、抽象的で個人的な感性で、尺度の難しさを秘めています。自分の感性を信じて、楽しんで写真を撮り、要領に従い、送信してください。撮影対象となるテーマは身近にあり、かつ無限です。

「美しい色風景」の反面に「美しくない色風景」があります。美しい写真もアングルを変えたり、トリミングにより美しくない写真に変貌します。対の形で投稿してください。

例えば富士山の名写真に対し、ゴミで汚された富士山の写真を対にすれば、「美しさ」が実感され尺度化の助けになります。

撮影対象は自由です。日本色彩学会のサイトの中の、あなたが著作権を持つ対極的な二グループの写真群が「美しい色風景」の尺度を浮かび上がらせてくれるでしょう。

関東支部 永田 泰弘



現代日本の美意識を反映する「日本の美しい色風景」

日本庭園には、借景を活用しながら、日本の自然風景を再現・造形化しようとする美意識が見られます。成句では、山や川の風景の美しさは、「山紫水明」（日に映えて山が紫色に見え、川の水が澄んで清らかである）、海岸の風景の美しさは、「白砂青松」（白い砂浜と青々とした松原）と表現されています。これらの成句では、紫と明（清らか）、白と青という色名と透明感の表現が、心地よい美しさを表しています。

このように日本には、心地よい風景は「美しい風景」と呼ばれ、「（自分と他者の）心地よさ」を「美」と捉える考え方が見られます。つまり、日本には人の心や体を心地よくするモノは、「美意識」と捉えられ、大切にされてきた伝統が古代から継承されています。その美しい伝統が現在、廃れつつある状況を示す出来事も発生しています。日本の美意識には、自然と一体になることで自然美を見出す「優美性」や、単純の中に見られる豊かさ、非相称性、侘び・寂び、艶（つや）、幽玄などがあります。実は、これらの日本の美意識には、人によって微妙な相違も見られます。

今回の「日本の美しい色風景」企画を通して、現代日本の美意識を再発見する気運が高まるきっかけになるよう、協力させていただく所存です。

関西支部 吉村 耕治

協力者・スポンサー 募集

このプロジェクトの運営を支えるメンバー、
およびスポンサーを募集しています。

お問合せ先

Info_colorscape@googlegroups.com



日本色彩学会 令和2年度秋の研究会旬間
2021年12月13日（日）14:00～16:00

《トークイベント》

『コロナと色彩』シンポジウム（第2部）

With & Post コロナ 新たな文明の転換期と色彩
日本の自然環境と「美しい色風景」

三木学

日本色彩学会 第52回全国大会
2021年6月27日（日）16:20～17:05

《特別企画3》

"日本の美しい色風景"プロジェクトの立ち上げ
-データ閲覧サイトのご紹介-

川澄未来子・三木学・林英光

日本色彩学会 令和3年度秋の研究会旬間
2021年11月21日（日）13:00～16:00

《トークイベント》

色は世界を駆ける、色を未来に架ける（第1部）
「日本の美しい色風景、世界の美しい色風景」

港千尋・三木学

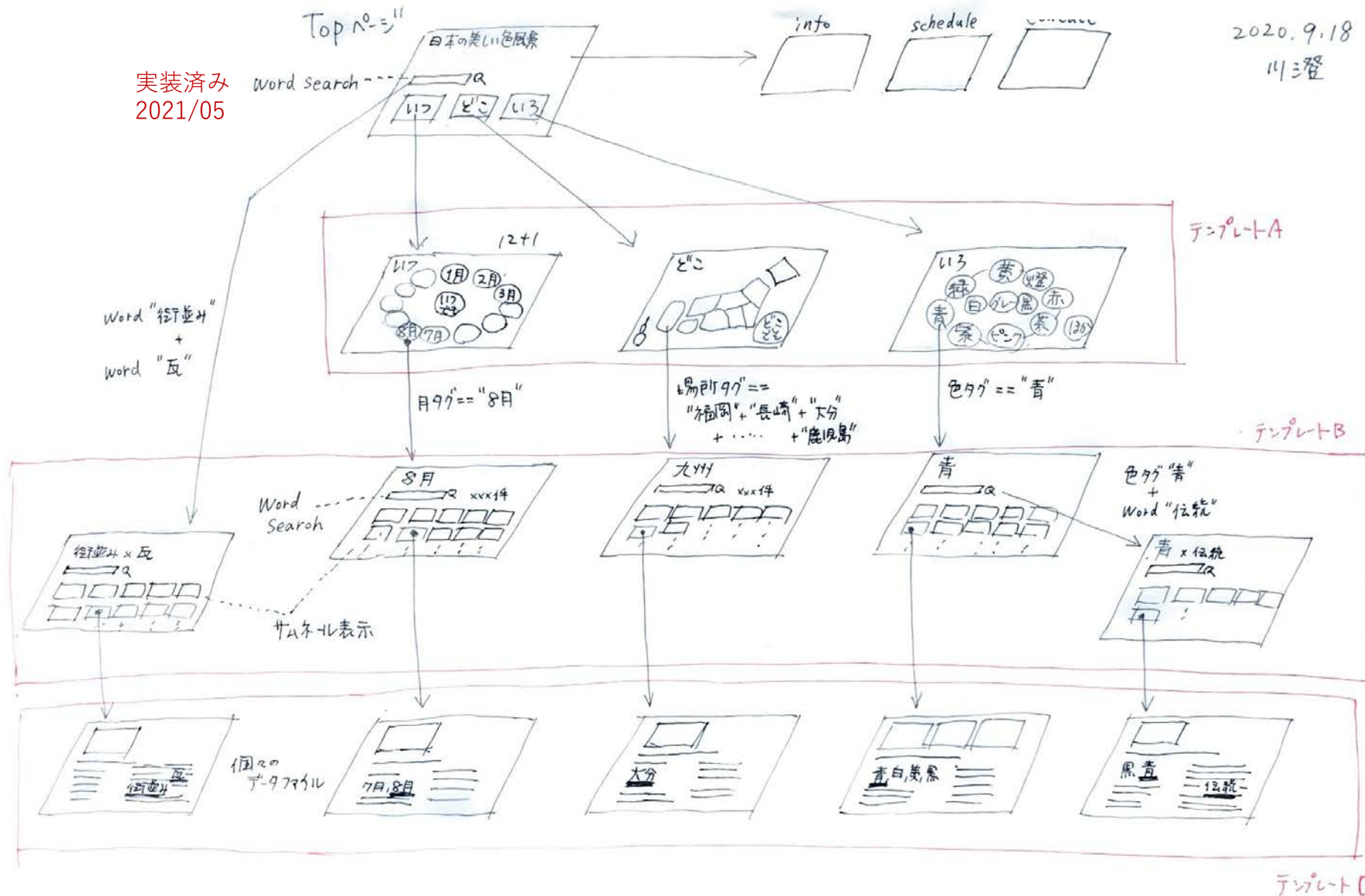
サイトイメージメモ (2020.9時点)



日本の美しい色風景
Beautiful Colorscape in Japan

2020.9.18
川澄

実装済み
2021/05



実装済み
2021/05

実装済み
2021/05



	墨色 R0 G0 B0 000000 C20 M20 Y20 K100		白 R255 G255 B255 ffffff C0 M0 Y0 K0		紅色 R250 G15 B15 fa0f0f C0 M95 Y100 K0		黄丹色 R240 G120 B70 f07846 C0 M65 Y75 K0
	露草色 R0 G125 B195 007dc3 C85 M40 Y0 K0		刈安色 R235 G215 B105 ebd769 C12 M12 Y70 K0		苔色 R100 G130 B0 648200 C67 M40 Y100 K0		錦色 R245 G180 B195 f5b4c3 C0 M40 Y10 K0
	海老茶 R130 G65 B55 824137 C50 M80 Y90 K20		菖蒲色 R120 G60 B170 783caa C60 M80 Y0 K0		銀鼠 R125 G125 B125 7d7d7d C0 M0 Y0 K65		← R0 G0 B0 000000 CMYK ← R150 G150 B150 969696 C0 M0 Y0 K55

Designed by 多田真奈美 (くらしの色彩研究会)



◆日本の音風景100選（環境省、1996）

https://www.env.go.jp/air/life/nihon_no_oto/02_2007oto100sen_Pamphlet.pdf

◆日本のかおり風景100選（環境省、2001）

<https://www.env.go.jp/air/kaori/pamph/index.html>

◆日本の百選 都道府県別データベース

<http://j100s.com/>

◆日本で最も美しい村（2005）

<https://utsukushii-mura.jp/>

◆世界で最も美しい村（2012）

<https://lpbvt.org/>

◆ふじのくに 美しく品格のある邑（2011）

<https://www.fujinokuni-mura.net/about/>

◆未来に残したい東日本の風景2020（NEXCO東日本）

https://www.e-nexco.co.jp/pressroom/image_gallery/r2calender/

◆Japan Vision 未来に残したい風景・行事・取組（フコク生命）

<http://web-ic.fukoku-life.co.jp/japan-vision/culture.html?20180309>

◆ニッポン印象派（NHK）

<https://www.nhk-ondemand.jp/program/P201700170600000/>

◆21世紀に残したい日本の風景（NHK）

<http://nihon100sen.travel.coocan.jp/fukeinhk/hyousi/hyousi.htm>